

1 ウズラ

(キジ目)

兵庫県ランク:A

Coturnix japonica

繁殖個体群:無 越冬個体群:A 通過個体群:調

環境省ランク:VU(絶滅危惧Ⅱ類)

種の概要

北海道、本州北部では夏鳥、本州南西部、四国、九州、沖縄では冬鳥とされるが、古くには京都市、三重県などで繁殖した記録がある。兵庫県では主に10-翌4月に記録がある。平地から山地の草原や農耕地、河原などに生息し、草の実や昆虫類、クモ類、ミズ類などを採食する。

写真なし

国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、屋久島、種子島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

(神戸市)、(洲本市)、(伊丹市)、(豊岡市)、(加古川市)、(赤穂市)、(西脇市)、(宝塚市)、(高砂市)、(小野市)、(丹波市)、(香美町)



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

かつては個体数は少ないものの県内各地で記録されていたが、1960年以降急減した。当時は、毎年1,000羽程の養殖ウズラが各地で放鳥されていた。草むらの繁みに潜んでいることが多いため目撃されにくいものの、近年、観察記録は極めて減少している。

保護上の留意点

生息環境である牧場、海岸、河川敷の草原、農地周辺の藪などの保全が重要。